

令和5年度岩手県災害派遣福祉チーム員登録研修実施要項（延期後開催）

1 目的

岩手県災害派遣福祉チーム員養成研修実施及びチーム員登録要領に基づき、岩手県災害派遣福祉チーム（以下「チーム」という。）員となる者が、チーム員登録のために必要な以下の基礎的な知識及び技術等を習得することを目的に実施します。

- ①活動目的である、二次被害の防止、被災地域の自立と復旧・復興を理解する。
- ②災害現場では想定外も起こりうるため、自分で考え、柔軟に対応ができるために必要な動機づけ・マインドセット、基本的な姿勢の獲得がなされ、最低限の知識・情報をもっていること、もしくはそこへのつながり方を知る。
- ③チームで活動することの有用性を理解する。
- ④自身の平時の業務との関連も理解するだけではなく、平時に取り組むべきことを考えることができる。

2 主催

岩手県災害福祉広域支援推進機構 本部：岩手県保健福祉部地域福祉課
事務局：社会福祉法人岩手県社会福祉協議会

3 日時

令和6年2月26日（月）13:00～17:00（予定）

～27日（火）9:30～12:00（予定）

※時間が一部変更となる場合もあります。

4 会場

いわて県民情報交流センター8階 研修室810（盛岡市盛岡駅西通1丁目7-1／019-606-1717）

[会場アクセス] 会場ホームページをご確認ください。（<https://www.aiina.jp/soshiki/2/21.html>）

※公共交通機関又は周辺の有料駐車場をご利用ください。

5 受講対象及び定員

所属する法人（施設）・団体等からチーム員派遣協力の申出があったチーム員予定者

定員：30名

- ※ プログラムの詳細は、（別紙）を確認ください。
- ※ チーム員として登録するためには、本研修の受講が必須となります。
- ※ 受講希望者が定員を超える場合は、予定者として登録した年度が早い者を優先します。
- ※ 本年度受講できない予定者は、来年度以降（日程未定）の受講となります。

6 受講料

無料

※ 本研修の受講に係る旅費は、チーム員予定者が所属する法人（施設）の負担となります。なお、職能団体会員として申し出た方は所属団体に確認願います。

7 受講申込方法

別添の「受講申込書」及び「チーム員経歴書」に必要事項を記入の上、郵送にてお申込みください。

【申込期限】令和6年2月2日（金）必着

**【送付先】〒020-0831 盛岡市三本柳8地割1番3 ふれあいランド岩手内
岩手県社会福祉協議会 福祉経営支援部宛て**

8 個人メールアドレスの申告及び顔写真データの提供

チームでは、事務局からチーム員への平常時及び緊急時における連絡のための、メール連絡網システムを導入しています。

つきましては、個人の携帯電話等、常時連絡が可能なアドレスから、件名に「チーム員」、本文に氏名、所属施設（または職能団体名等）を入力し、顔写真データ（肩より上・データ名に氏名を入力のこと）を添付の上、下記アドレスに送信してください。

【送信期限】令和6年2月2日（金）

【送信アドレス】t-wayama@iwate-shakyo.or.jp（事務局担当者アドレス）

9 事前学習

事前学習として、総務省消防庁ホームページ動画「防災・危機管理eカレッジ～防災の基礎知識～」(<https://www.fdma.go.jp/relocation/e-college/index2.html>)を視聴のうえ、受講ください。

[動画 QR コード]



10 その他

(1) 個人情報の取扱い

受講申込書等をもって取得した個人情報については、岩手県の個人情報保護条例及び岩手県社会福祉協議会が定めるプライバシーポリシーに基づき、チームに関する業務以外の目的では使用しません。

(2) 当日は、チーム員連絡網システムの送受信確認を行う予定です。申告したメールアドレスが設定された携帯電話機等をご持参ください。

【問合せ先】

〒020-0831 盛岡市三本柳8地割1番3 ふれあいランド岩手内

岩手県社会福祉協議会福祉経営支援部（担当：和山）

TEL : 019-601-7024 FAX:019-637-4255 Email : t-wayama@iwate-shakyo.or.jp

岩手県災害派遣福祉チーム員への登録は、	
1 「地域における公益的な取組」に含まれます。	岩手県災害派遣福祉チームは、大規模災害時における要援護者の様々な福祉・介護等のニーズ把握を行う活動であり、社会福祉法人の責務として位置づけられた「地域における公益的な取組」に含まれるものです。
2 事業継続計画(BCP)の策定につながります。	「自然災害発生時の業務継続ガイドライン（令和2年12月厚生労働省発行）」において「被災時の職員の派遣」が記載されており、岩手県災害派遣福祉チームへの登録とその活動は、事業継続計画(BCP)の策定と、訓練実施へつながります。

(別紙) プログラム※ 予告なくプログラム内容及び時間を一部変更する場合があります。

開始	終了	時間 (分)	科目	タイトル	ねらい	講師
自宅学習		事前 学習	災害の種類と 災害によっても たらされる被害	・各種災害の現象とその被害状況を過去の事例から学び、災害及び被災地の状況をイメージする。また、自分自身が災害に遭遇した場合に身の安全を図る重要性を理解する。	「防災・危機管理 e レッジ～防災の基礎知識～」視聴	

【1日目:2月26日(月)】

13:00	13:10	10	挨拶・オリエンテーション			
13:10	14:10	60	講義 I 災害派遣福祉 チームの基本 事項と活動	・チーム創設までの経緯、チームの必要性と意義、災害時の福祉的課題、活動の目的と基本的な考え方を理解する。	社会福祉法人玉山 秀峰会 常務理事 兼施設長 西尾 卓樹 氏	
14:10	14:25	15	休憩			
14:25	15:30	65	講義 II 災害派遣福 祉チームの 活動の実際	・これまでの災害及び被災地の状況において、災害派遣福祉チームがどのような活動をするのか、実例に基づく活動イメージをつくる。		
15:30	17:00	90	演習 I 避難所における福祉ニーズ を考える	・二次被害の原因となる避難所における福祉ニーズ/生活ニーズをしっかりとと考え、とらえることで、その背景にある課題と解決策をさまざまな視点で考えられるようになる。 ・解決策の検討をする中で、福祉専門職として、災害時だけではなく、平時から行っておくべきこともあることに気づく。	華頂短期大学 幼児教育学科 教授 武田 康晴 氏	

【2日目:2月27日(火)】

9:30	11:50	140	演習 II 一般避難所で の災害派遣福 祉チームの活 動	・支援対象を固定的にとらず、その時期に応じた適切な支援は何かを考えられるようになる。 ・二次被害防止という目的の達成を、チームで協力して取り組もうと考えられるようになる。		
11:50	12:00	10	クロージング(まとめ・連絡事項)		事務局／チーム員	